

楯築弥生墳丘墓の画期

乗岡実(岡山市教育委員会)

1. 楯築遺跡とは - 弥生時代の墓から古墳を考える -

- (1) 1970年代の岡山の古墳・弥生墳墓をめぐる研究
古墳とは何か—ものごとの本質は起源に良く示される—
- (2) いよいよ発掘—驚きと発見の毎日、全国から注目

2. 楯築弥生墳丘墓のつくり

- (1) 突出部をもつ形
- (2) 立石・列石・円礫で飾られた墳丘
- (3) 中心埋葬は木槨内に木棺

3. 楯築弥生墳丘墓の出土品

- (1) 特殊器台・特殊壺、様々な祀りの土器
- (2) 弧帯石—直弧文の源流か?—
- (3) 副葬品—剣と玉—
鏡、ましては三角縁神獣鏡は出土しなかった

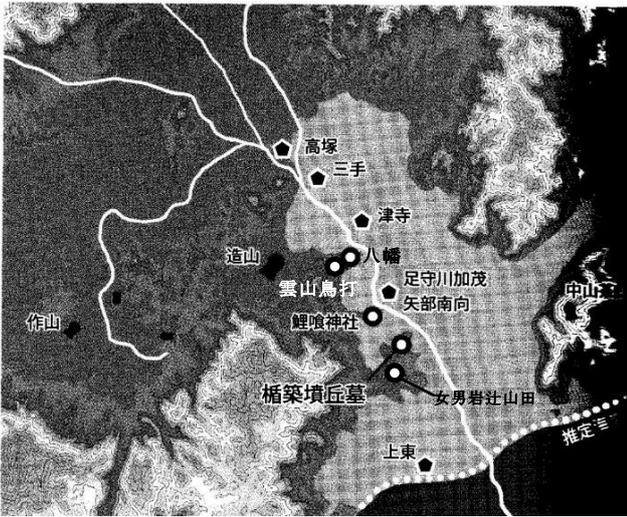
4. 周辺遺跡と吉備の弥生墳丘墓

高梁川の分流に育まれた大遺跡群
墳丘墓や特殊器台壺祭祀にみる吉備世界

5. 弥生墳丘墓の時代から前方後円墳の時代へ

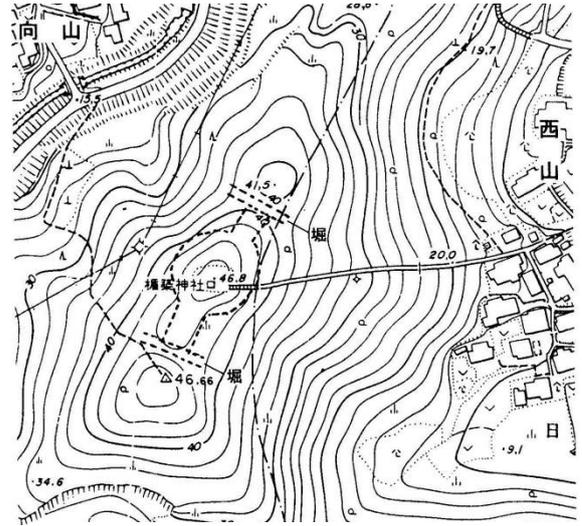
- (1) 吉備の弥生墳丘墓の動向—楯築は吉備最古で最大の弥生墳丘墓—
楯築段階にみる吉備の結集とその後の変貌 右肩上がりに古墳に繋がるわけではない
- (2) 特殊器台から埴輪に、祀りと祀りの形骸化
- (3) 前方後円墳の成立と吉備が果たした役割

6. 楯築墳丘墓は吉備の栄光を示す偉大なモニュメント



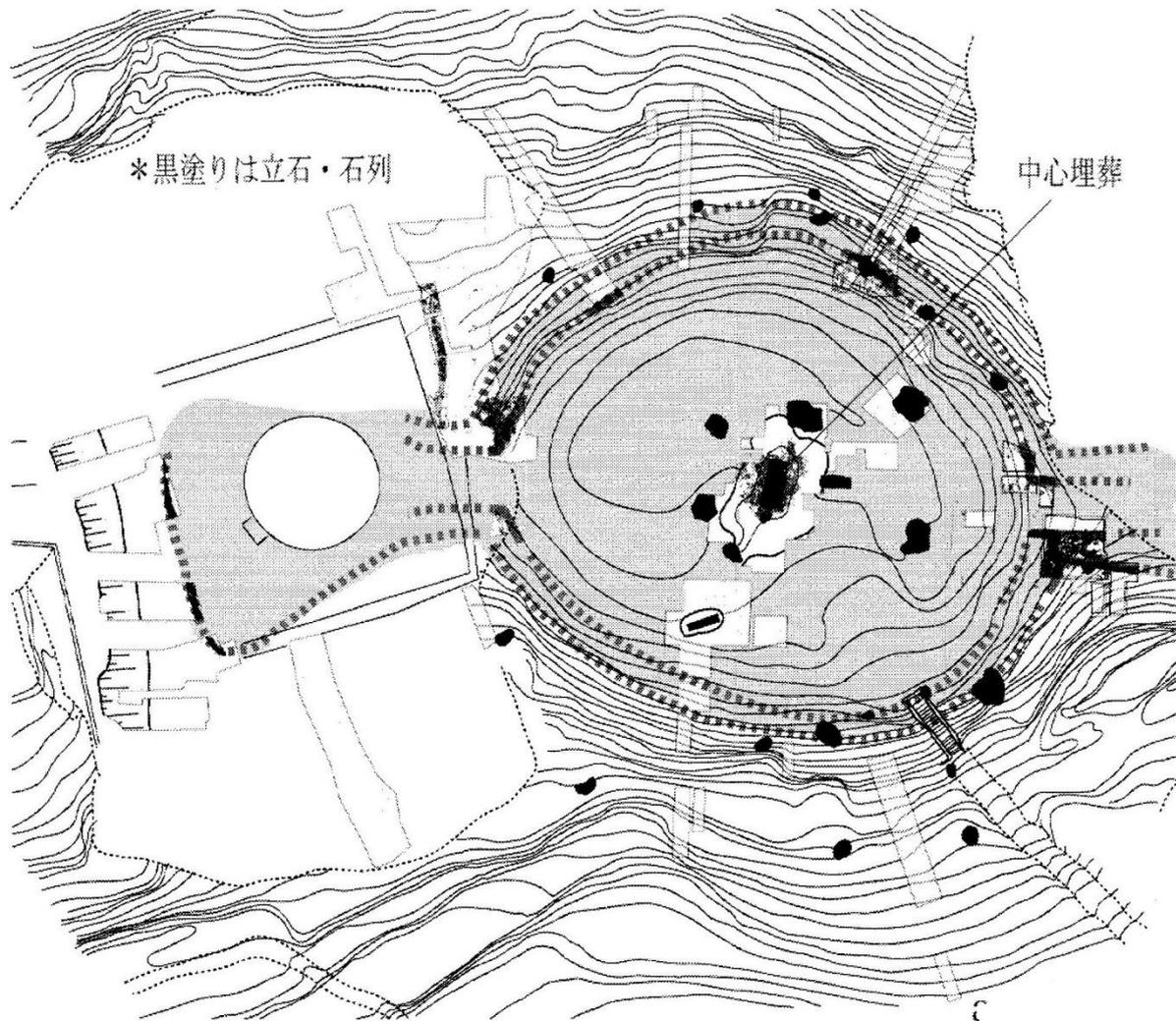
第1図 榊築墳丘墓と周辺の遺跡

大阪弥生文化博物館 2013『吉備と邪馬台国』に加筆



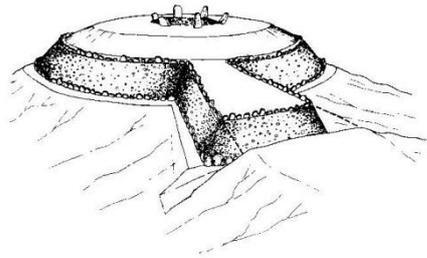
第2図 榊築墳丘墓の立地（開発前）

近藤芳郎 2002『榊築弥生墳丘墓』吉備人出版から



第3図 榊築墳丘墓の墳丘（大久保徹也による復元）

大阪弥生文化博物館 2013『吉備と邪馬台国』から



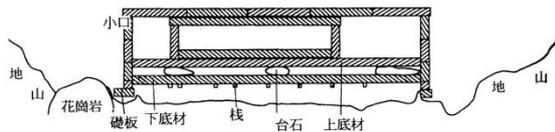
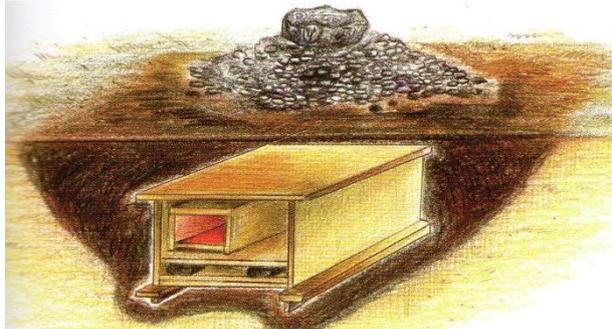
第4図 楯築墳丘墓の墳丘復元像

近藤義郎 2001『前方後円墳と吉備と大和』から



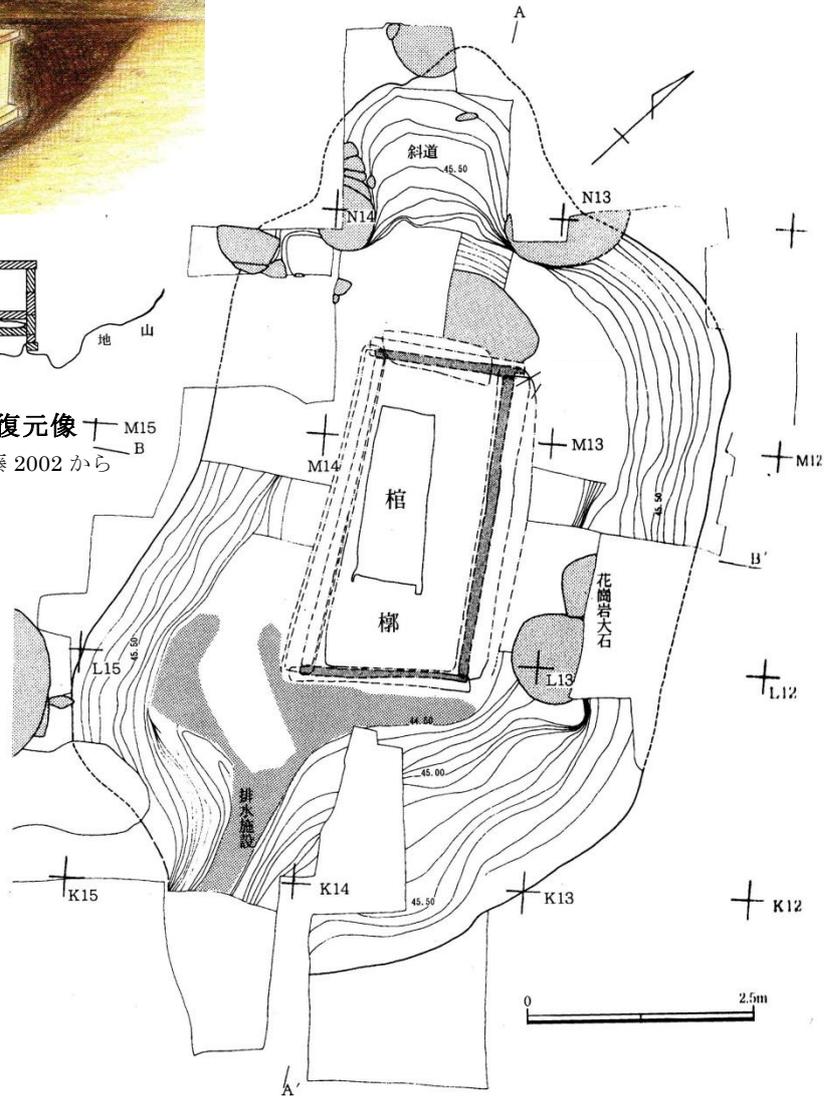
第5図 楯築墳丘墓中心主体埋葬後
の特殊器台群復元像

近藤義郎 2001から



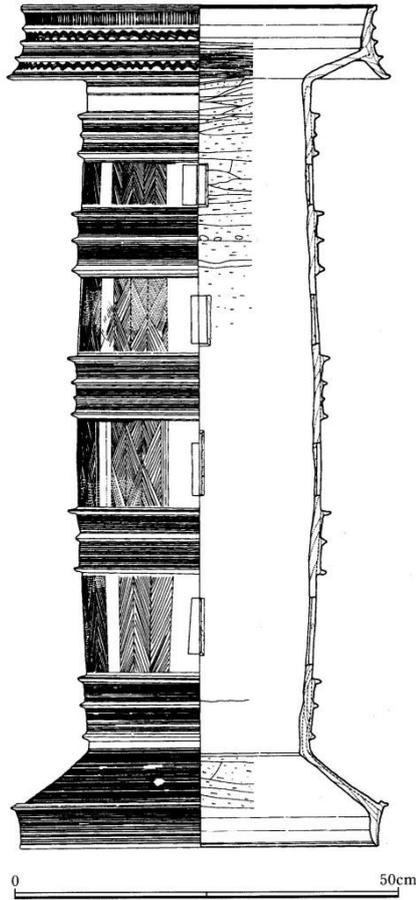
第6図 楯築墳丘墓中心主体の復元像

上：大阪弥生博 2013 から、下：近藤 2002 から

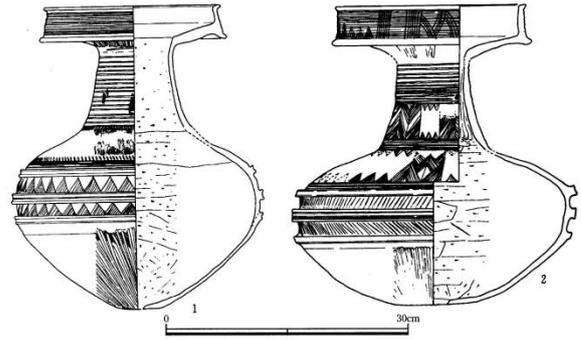


第7図 楯築墳丘墓の中心主体の発掘遺構図

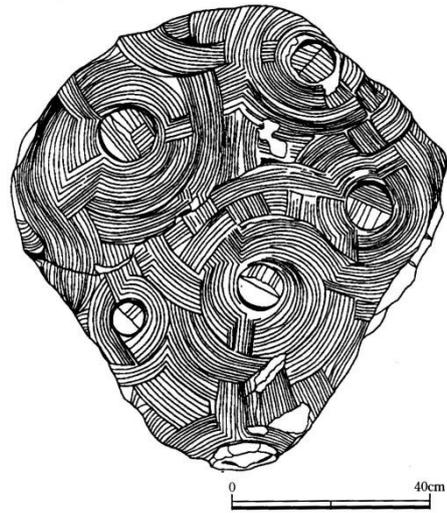
近藤義郎 1992『楯築弥生墳丘墓の研究』から



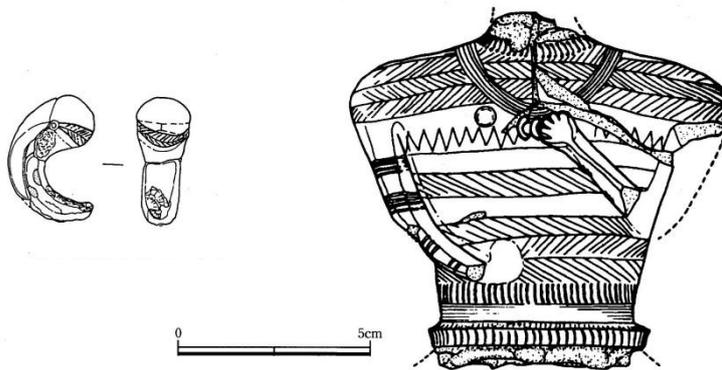
第8図 楯築墳丘墓出土の特殊器台
近藤 1992 から



第9図 楯築墳丘墓出土の特殊壺 近藤 1992 から



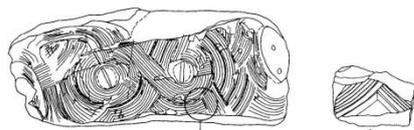
第10図 楯築の伝世弧帯文石 近藤 2002 から



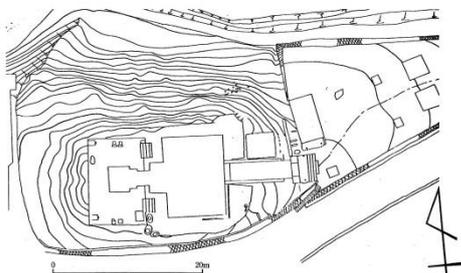
第12図 楯築墳丘出土の土勾玉と人形 近藤 2002 から



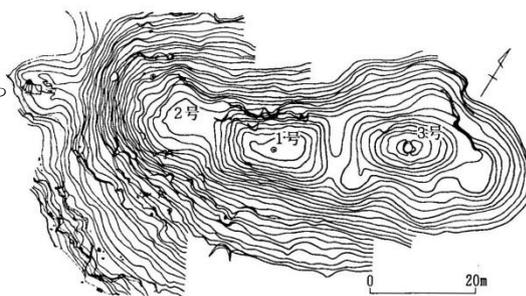
第11図 楯築の伝世弧帯文石の顔
近藤 2002 から



第13図 楯築と鯉喰神社の弧帯文石 近藤 2002 から



第14図 鯉喰神社墳丘墓 近藤 2002 から



第15図 雲山鳥打弥生墳丘墓

近藤 1992 から

器台形土器から埴輪へ

	〈楯築型〉	〈向木見型〉	〈宮山型〉	〈都月型〉
器台形土器				
特殊器台・特殊壺				
弥生時代	倉敷・楯築弥生墳丘墓	三次・矢谷弥生墳丘墓	総社・宮山弥生墳丘墓	岡山・都月坂1号墳
古墳時代				脚部の喪失 多量配列
特殊器台形埴輪				

巨大化
特殊器台文様の付加
墳墓での使用に特化

第16図 器台形土器から埴輪へ

岡山市埋蔵文化財センター2012『前方後円墳の時代への道』から



2 向木見型／向木見遺跡

1 立坂型／立坂遺跡



4 向木見型／向木見遺跡の反転

3 宮山型／宮山遺跡

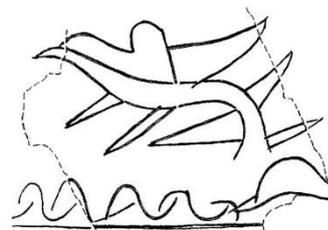


6 都月 b 類／七つぐる1号墳

5 都月 a 類／都月坂1号墳

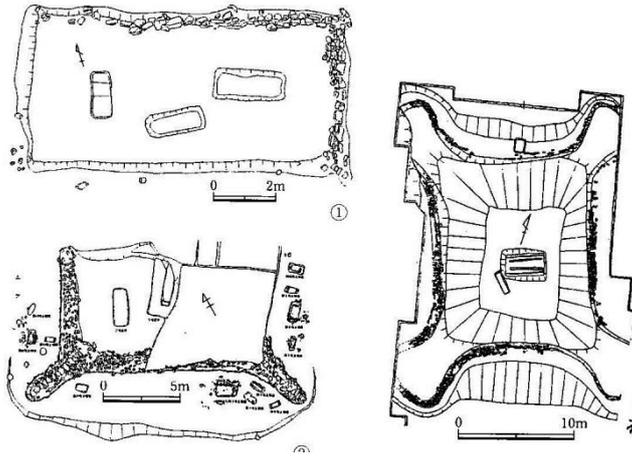
第17図 特殊器台～埴輪の文様

大阪弥生博 1992 から

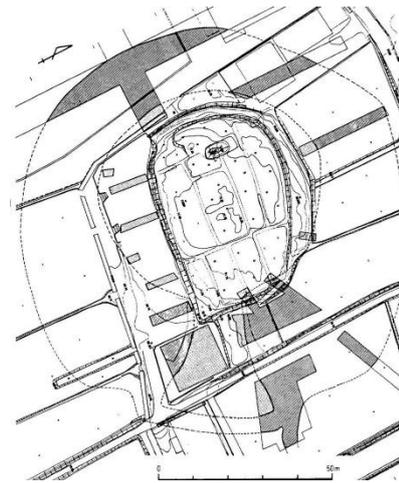


第18図 天瀬遺跡の器台に描かれた龍

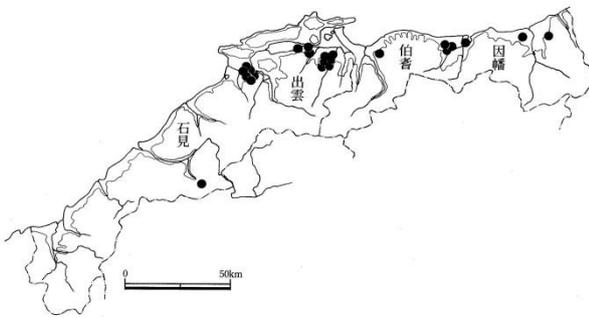
大阪弥生博 2013 から



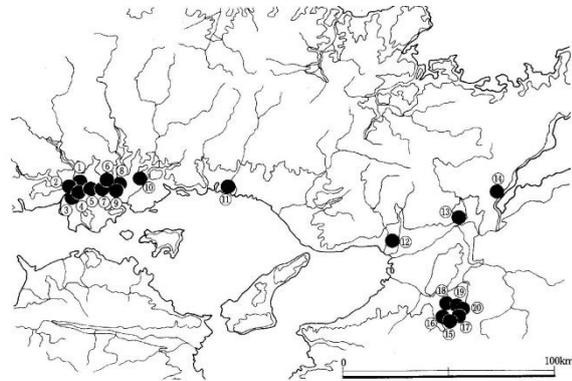
第19図 山陰の四隅突出型墳丘墓 近藤 2001 から



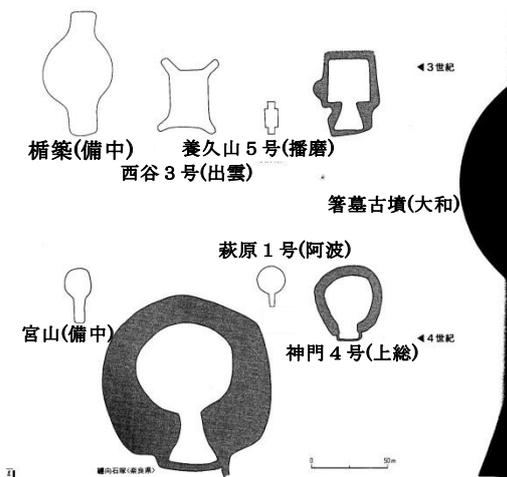
第21図 大和の石塚
大阪弥生博 1992 から



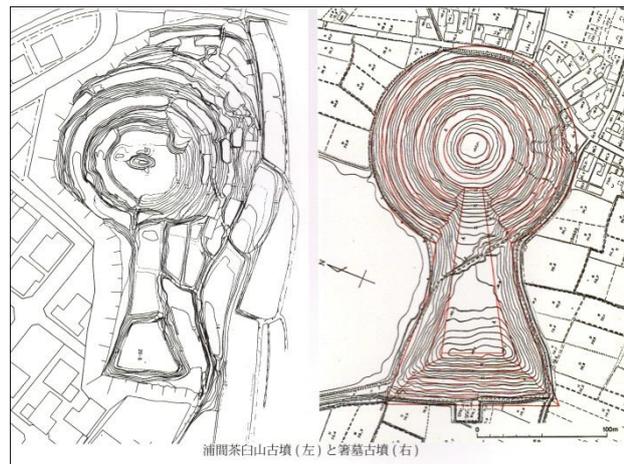
第20図 山陰の四隅突出型墳丘墓の分布
近藤 2002 から



第22図 都月型埴輪の出土地分布 近藤 2001 から



第23図 各地の墳丘墓と箸墓古墳
大阪弥生博 1992『激動の三世紀』から



第24図 浦間茶白山古墳(左)と箸墓古墳(右)
岡山市埋文センター2012 から